



11月22日(日)に、TOYOTA GAZOO Racing FESTIVAL キッズ記者体験に参加しました。

記者体験が始まるとまず、ぼくの大好きな脇阪選手が登場しました。  
その脇阪選手に聞いてみたかったこんな質問をしました。

Q1、どうしてレーサーになったのですか？

A、元々レーサーになろうとは思っていなかった。

この答えを聞きとてもおどろきました。「レーサーになろう」と子供の頃からずっと夢見ていたと思っていたからです。ですが、レーサーになろうと思っていなくても努力すれば、レーサーになれるし、色々なテクニックをしょうとくできる。とてもすごいと思いました。

Q2、今まで一番印象に残っているレースは何ですか？

A、前々回(11月1日)のオートボリスのスピンはです。

たしかにあのスピンは、ぼくも残念に思いました。6位でしかもファイナルラップだったので残念でたまりませんでした。



他にもこんな事を話してくれました。

レースで勝つのに大切なのは、スピードではなく、重さと加速です。たとえばスーパーフォーミュラの車の重さは、GTマシンの半分くらいの重さだと言っていました。

また、最近では勝っていないが、次シーズンで勝てたら関係者の方々やファンの方々に感謝すると思います。と言っていました。

この話を聞いてとても素晴らしい話だと思いました。ぼくの夢はレーサーではありませんが、脇阪選手をお手本にしたいです。

また、話から分かったのは何があっても、あきらめなければ必ず\*できるようになるという事です。

これからも、脇阪選手を応援したいです。今日は大好きな脇阪選手に、こんなに近くで話が聞けてとてもうれしかったです。

小学校4年生 池田涼介